

# いら、しゃいませ通信

二学期がはじまります。いろいろなことに、挑戦しましょう。

夏の教室のときに、一度紹介した詩のコンクールについて、改めて紹介します。

「あなたにあいたくて  
生まれてきた詩」  
コンクール

北九州市立文学館が主催するコンクールです。今年で九回目。テーマは、自由です。B4原稿用紙三枚以内になっています。

作文とは形がちがいますが、自分が感じた印象を言葉にして、書き残します。

これは、コミュニケーションスキルの一つともいえるもので、見えな感情を言葉におきかえていく作業です。

形式も順序立ても不要です。子どもらしい、子どもにしか書くことができないものが生まれる可能性が、詩にはあります。

夏休みが終わって、今の気持ちや思い出を言葉にしてみましよう。

もし、この詩をずっと続けていけば、自分の成長記録にもなるでしょう。

裏面に原稿用紙の使い方をのせています。参考にしてください。

夏休みの出来事から、一例をあげてみます。

出来事・思ったこと

真夜中、暑くて目がさめたらセミが鳴っていた。沢山じゃなく、一匹だけ。何となく元気がない。ええだった。なんで夜中に鳴いてるの？。そもそも、なんでセミは鳴くの？。

(例) 夜中のセミ

暑い夜  
目がさめた。  
夜中の三時。  
一匹のセミが鳴いている。  
夜中にも鳴くんた。  
きいてるのは、  
ぼくだけなのに。

※大人がくると、水がぼやけて面白  
ありませんね。子どもたちはどう  
書くでしょうか。たのしみです。

## 第9回 宗左近・みづかみかずよ記念

# 「あなたにあいたくて生まれてきた詩」 コンクール —ことばはやさしく、こころはふかく—

## 募集要項

対象

小・中学生

締め切り

平成30年9月30日(日)※必着

入選作品発表

平成30年11月下旬に北九州市立文学館のホームページで発表します。

※入選作品は、コンクールの広報のために使用することがあります。  
※入選作品は、学校名・氏名・学年を表示して、作品集にします。またホームページ、其他媒体で発表します。  
※選考についてのお問い合わせには応じられません。

表彰式

平成30年12月8日(土)に、北九州市立文学館にて行います。

最終選考委員

平出 隆(詩人・作家・多摩美術大学教授)

応募方法

- 400字づつ原稿用紙(B4判)縦書きを使用して、手書き3枚以内で書いてください。
- 題と学校名・学年・氏名を原稿用紙の1枚目に記入してください。(ペンネーム不可)。
- 応募用紙に必要事項を記入し、郵送で送ってください。
- 応募用紙はホームページよりダウンロードできます。  
<http://www.kitakyushucity-bungakukan.jp/>

応募の注意

- 応募作品は、日本語で書かれた作品に限ります。ほかのコンクール等に応募されたものは受け付けません。
- ご家族や学校の先生などが手伝ったものは応募できません。
- 作品の内容がプライバシーの侵害にならないよう注意してください。
- 他人の文章を勝手に使ってはいけません。使う場合は、どこから用いたかも必ず書いてください。
- 応募したあとの訂正は受け付けません。
- 応募作品は返却しません。必要な方は必ずコピーを取って応募してください。
- 応募作品に誤字がある場合、選考の過程で修正することがあります。
- 応募した方の個人情報、はこのコンクール以外で使用することはありません。
- 学校単位で応募の場合、入賞者は学校を通じて通知します。



宗 左近  
(1919年~2006年)

北九州市戸畑区生まれ。本名 古賀照一。詩人、評論家、仏文学者、翻訳家。東京大学哲学科卒業。詩集「炎(も)える母」で歴程賞を受賞。晩年には「響灘」など一行詩の作品を発表。また古今東西を超えた美術評論を行い、著書に「日本の美 その夢と祈り」などがある。また翻訳ではエミール・ゾラ、モーパッサン、ロマン・ロラン、アガサ・クリスティの作品のほか、ロラン・バルト「表徴の帝国」なども手がけた。詩歌文学館賞、チカダ賞、北九州市民文化賞を受賞し、日本現代詩人会から「先達詩人」の顕彰を受けた。



みづかみ かずよ  
(1935年~1988年)

北九州市八幡東区生まれ。詩人、児童文学作家。幼稚園勤務のかたわら、詩や童話を書き始める。その後、児童文学誌「小さい旗」に参加。その作品は、小学校の国語教科書にも採用され、また児童合唱曲にもなった。詩集「いのち」で第5回丸山豊記念現代詩賞を受賞。代表作に「馬でかければ」「きんのストーリー」「ごめんねキューピー」など。北九州市民文化賞を受賞。